

令和4年度
北海道大学 大学院法学研究科 法律実務専攻
(法科大学院)

入学者選考試験【後期日程】
「小論文試験」問題冊子

試験時間 : 13:00～15:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は5ページある。
3. 解答用紙は、B4版で、小論文【問題1】（両面印刷）、小論文【問題2】（両面印刷）の2枚である。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出せよ。
5. 受験番号（上下2箇所）および氏名（上1箇所）は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。
6. 解答は、すべて所定の解答用紙の指定された欄に横書きで記入せよ。
7. 解答は、黒インクのボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）で記入せよ。
8. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
10. 草稿用紙は回収しない。

次の文章を読んで、問題に答えなさい。

出典：奥田太郎「喫煙しない自由からの闘争——喫煙規制問題を倫理学する」児玉聡
編『タバコ吸ってもいいですか——喫煙規制と自由の相剋』（信山社、2020年）

（ただし、出題に際して、文章の一部を省略・変更した。）

問題1 「ここからわかるのは、非喫煙者が求める「きれいな空気を吸う権利」と対称性をもちうるのは、ここで喫煙者が求めている「ガスのない空気を吸う権利」であって、喫煙する権利ではない、ということである。」（下線部）とあるが、なぜそう言えるのか、ジェームズ・リペースが案出した思考実験の内容に触れつつ説明しなさい。（700字）

問題2 喫煙者自身にとっての喫煙の危険性を根拠に喫煙規制を行うことは許されるべきか、問題文の内容を踏まえた上で、あなたの考えを述べなさい。（700字）